

Illustratorクリエイター能力認定試験

エキスパート

サンプル問題
(Ver.CS、CS2、CS3、CS4、CS5、CS6 対応版)

第 2 部 実践問題 問題冊子

【制限時間 90 分】

注意事項

- “ILエキスパート××××（バージョン名）”フォルダ内に“第2部実践問題”フォルダが収録されていることを確認してください。
- 指示があるまで問題冊子およびファイルを開いてはいけません。
- 試験終了後、問題冊子を回収します。

受験会場	
受験番号	
氏 名	

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。
なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。

サードパーティ
ソフトウェア活用能力認定委員会

<問題文の表記方法>

本試験内で提示される問題文の表記方法は、原則下記に従います。ただし、出題の内容や解答に関連する部分で、一部原則よりはずれることがあります。

- 1 フォントの表記：フォントの使用指示が OS によって異なる場合は、『MS ゴシック（Mac：Osaka）』のように Windows 対応表記を先に記載し、次に（ ）を付けて Macintosh 対応表記を記載します。
- 2 ファイル名は“ ”でくくり、“問題.ai”のように表記します。
- 3 フォルダ名、ファイル名の大文字、小文字はシステムの設定により表示が異なる場合がありますので、厳密に区別をしません。ご使用のシステムの表示に従ってください。
- 4 Illustrator CS2 以前のバージョンにおいては、「パネル」は、「パレット」と表現しますが、本試験内では、「パネル」という表記で統一しています。

<注意事項>

- ・ “第2部実践問題”フォルダ内の“参考画像”フォルダには、完成例が収録されています。問題文の指示に従って参照してください。
- ・ 問題文中に設定値の指定が無い場合は、完成例を参考に適切な設定値を適用してください。
- ・ 特に指示がなくとも適宜上書き保存し、データが失われないようにしてください。

<フォントについて>

- ・ 問題文や設問において指定されたフォントがシステムに搭載されていない場合は、試験監督者より指示された代替フォントを使用してください。
※ Illustrator CS/CS2 でご受験いただく際、インストール環境により、問題文中で指示されているフォントファミリーまたはフォントスタイルがシステムに搭載されていない場合があります。その場合は、試験監督者の指示に従って代替フォントを使用してください。

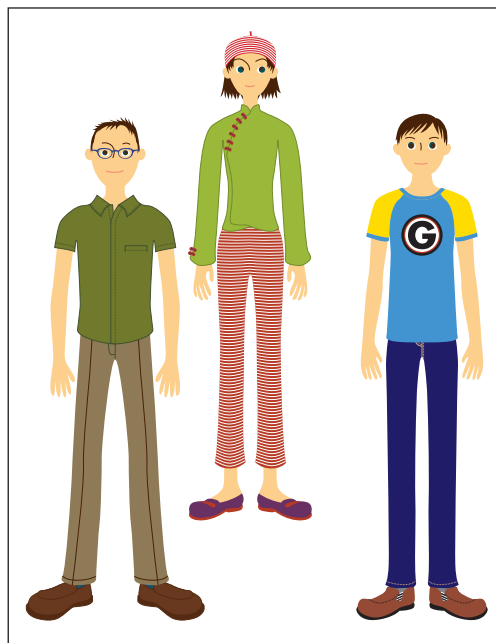
素材データについて

“第2部実践問題”フォルダ内には、問題中で使用する5つの画像ファイルと1つのテキストファイルが収録されています。

“海.psd”



“イラスト.ai”



“ネーム.ai”



“地図.ai”



“夜景.psd”



“テキスト.rtf”

山田（フォトグラファー）、池内（グラフィックデザイナー）、森（CG アーティスト）という異色の3人が巧むメディアアートプロジェクト第2弾“collective”。見て、聞いて、触れて、新しい驚きと感動を感じてください。

5月10日 18:00～オープニングパーティーを開催します。会費は1,000円です。是非、お越しください。

テーマ設定とレイヤー構成

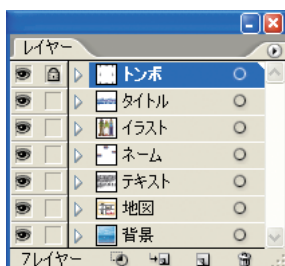
展示スペースを提供している「Digital Gallery」では、次回の企画展の案内ハガキを作成することになった。＜図1：完成例＞および“参考画像”フォルダ内に収録されている参考画像ファイル、“完成例.jpg”、＜図2：完成時のレイヤー構成例＞を参考に、作業指示書に従って案内ハガキを制作しなさい。

制作した作品は、“エキスパート××××.ai”（××××は受験番号）という名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存しなさい。

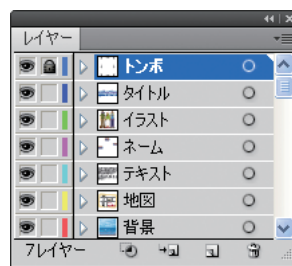
＜図1：完成例＞



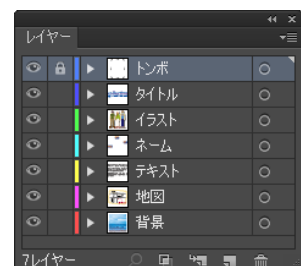
＜図2：完成時のレイヤー構成例＞
(CS、CS2、CS3)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞
(CS4、CS5)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞
(CS6)

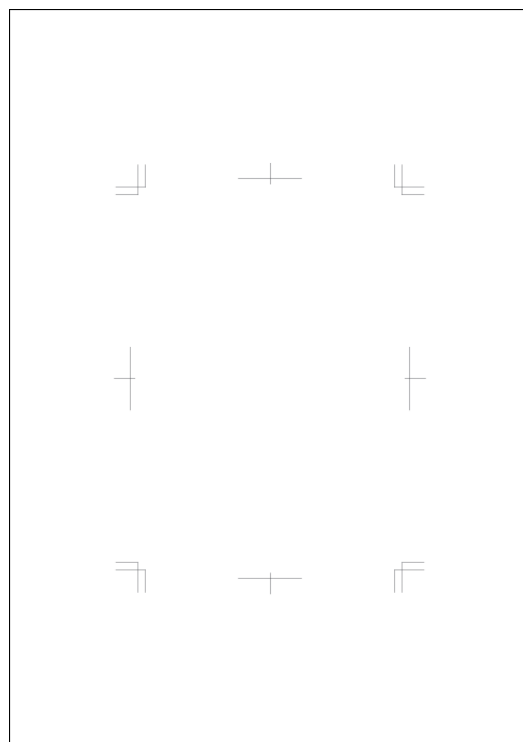


作業指示書

手順1 ドキュメントの作成とトンボの作成【レイヤー「トンボ」】

1. 次の設定で、新規ドキュメントを作成する。
名前：エキスパート××××.ai（××××は受験番号）
アートボードのサイズ：A4 縦（幅：210mm、高さ：297mm）
2. 作成したドキュメントのカラーモードは、商業印刷に適したカラーモードおよびラスタライズ効果を使用し、プロファイルは削除すること。完成したファイルにもプロファイルを埋め込まないようにすること。
3. 案内ハガキの仕上がりサイズは、幅：100mm、高さ：148mmである。作成したドキュメントの中央に、案内ハガキの仕上がりサイズに合わせてトンボを作成する。なお、トンボは、[トリムマークを作成（CS,CS2,CS3,CS4：トリムマーク）] コマンドを使用して作成し、上下左右に3mmの裁ち落としをつけること。
4. レイヤー「レイヤー1」の名前を「トンボ」に変更し、レイヤーをロックする。

<図3：トンボの作成>



手順2 画像の配置と編集【レイヤー「背景」】

1. レイヤー「背景」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「背景」をレイヤー「トンボ」の下に移動する。
2. <図4：“海.psd”の配置>および参考画像“図4.jpg”を参考に、レイヤー「背景」上に、“海.psd”を配置する。“海.psd”は、ファイル“エキスパート××××.ai”に埋め込むこと。配置する位置は目測で構わない。

<図4：“海.psd”の配置>



3. <図5：長方形の作成>を参考に、幅：106mm、高さ：35mmの長方形を作成する。長方形の上の辺がハガキの上下の中央に、長方形の左右の辺が外トンプボの延長線上になるように配置する。

<図5：長方形の作成>

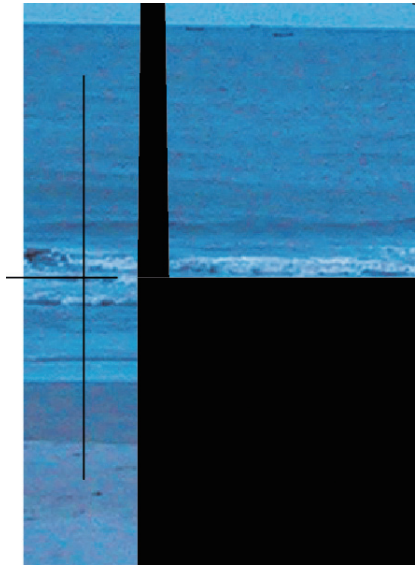


4. 底辺：2mm、高さ：77mmの二等辺三角形を作成し、<図6：二等辺三角形の作成>、<図7：図6の拡大図>を参考に配置する。

<図6：二等辺三角形の作成>

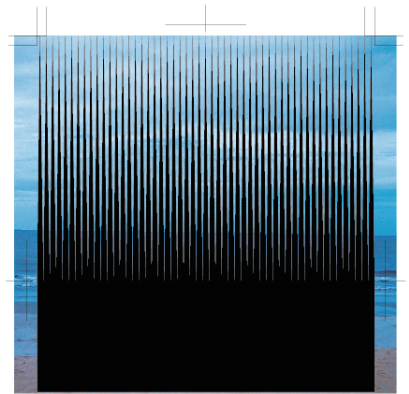


<図7：図6の拡大図>



5. <図8：二等辺三角形の複製>および参考画像“図8.jpg”を参考に、4.で作成した二等辺三角形を水平右方向に2mm間隔で複製し、計53個作成する。

<図8：二等辺三角形の複製>



6. <図9：手順2完了時の状態>および参考画像“図9.jpg”を参考に、3.～5.で作成したオブジェクトをクリッピングマスクにして、配置した画像“海.psd”を切り抜く。

<図9：手順2完了時の状態>



手順3 イラストの配置と編集【レイヤー「イラスト」】

1. レイヤー「イラスト」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「イラスト」をレイヤー「背景」とレイヤー「トンボ」の間に移動する。
2. “イラスト.ai”を開く。“イラスト.ai”には、3人の人物のオブジェクトが作成されており、それぞれグループ化されている。アートボード上のオブジェクトをすべて選んでコピーし、“エキスパート××××.ai”のレイヤー「イラスト」にペーストする。コピーとペーストが完了したら、ファイル“イラスト.ai”を閉じる。
3. <図10：手順3完了時の状態>および参考画像“図10.jpg”を参考に、ペーストしたイラストの位置を調整する。その際、3人の人物のオブジェクトの垂直方向は下で整列させ、水平方向は等間隔に分布させること。
4. 3人の人物のオブジェクトに、以下の設定でドロップシャドウを適用する。

ドロップシャドウ：ドロップシャドウが人物のオブジェクトの右下に表示されるようにする。

ドロップシャドウのカラーは、C:0% M:0% Y:0% K:100%（ブラック）にする。

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

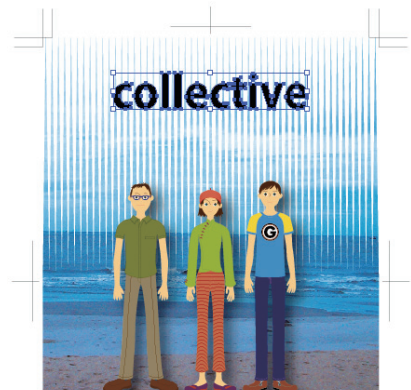
<図10：手順3完了時の状態>



手順4 タイトルの作成【レイヤー「タイトル」】

1. レイヤー「タイトル」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「タイトル」をレイヤー「イラスト」とレイヤー「トンボ」の間に移動する。
2. 半角文字列「collective」を入力し、以下の通り設定する。
フォントファミリー：小塚ゴシック Pro
フォントスタイル：B
サイズ：40pt
水平比率：100% 垂直比率：100%
カーニング：0 トラッキング：0
塗り：C:0% M:0% Y:0% K:100%（ブラック）
その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。
3. <図11：タイトルの入力>を参考に、入力した半角文字列「collective」の位置を調整し、アウトライン化する。

<図11：タイトルの入力>



4. <図 12：3本の直線を作成>を参考に、3本の直線のパスを作成する。
3本の直線のパスの位置の正確さは問わない。なお、<図 12：3本の直線を作成>は、レイヤー「背景」を非表示にした状態である。

<図 12：3本の直線を作成>



5. アウトライン化した文字列「collective」を 4. で作成したパスで分割する。

6. <図 13：文字列を分割して編集>を参考に、3本の直線によって4つに分割された文字列「collective」のうち、最上部と上から3番目の部分を水平右方向に0.5mm移動し、カラーを以下の通り設定する。

塗り C:70% M:80% Y:0% K:0%

線 なし

<図 13：文字列を分割して編集>

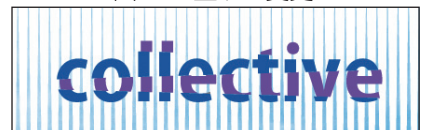


7. <図 14：塗りを変更>を参考に、3本の直線によって4つに分割された文字列「collective」のうち、上から2番目の部分と最下部のカラーを以下の通り設定する。

塗り C:100% M:70% Y:0% K:0%

線 なし

<図 14：塗りを変更>



8. 2.～7.で作成したオブジェクトの不透明度を75%に設定する。

9. <図 15：手順4完了時の状態>および参考画像「図 15.jpg」を参考に、文字列「5月10日～20日10:00～20:00」（数字と「:」は半角）を入力し、以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：B

サイズ：14pt

水平比率：100% 垂直比率：100%

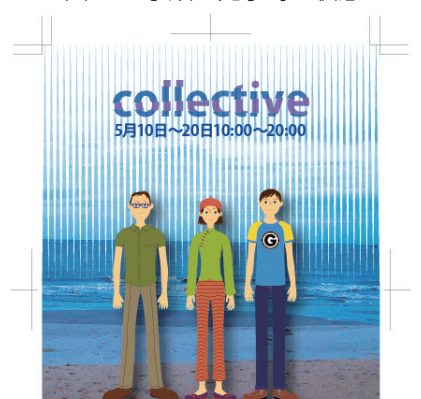
カーニング：オプティカル トラッキング：0

テキストカラー：C:100% M:75% Y:0% K:0%

文字組：なし

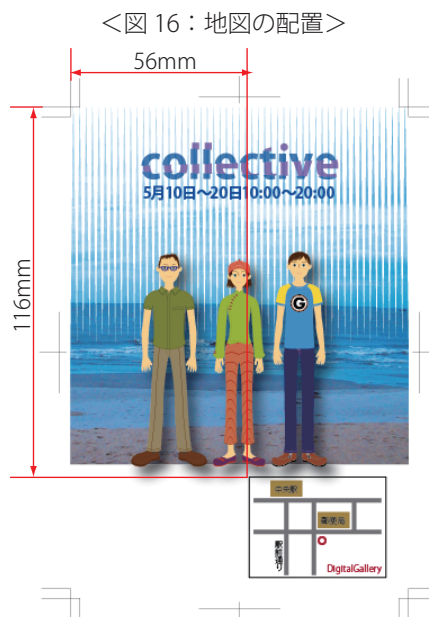
その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

<図 15：手順4完了時の状態>



手順5 地図の作成【レイヤー「地図」】

1. レイヤー「地図」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「地図」をレイヤー「背景」とレイヤー「イラスト」の間に移動する。
2. “地図.ai”を開く。“地図.ai”には、地図の元となるオブジェクトが作成されている。アートボード上のオブジェクトをすべて選んでコピーし、“エキスパート××××.ai”のレイヤー「地図」にペーストする。コピーとペーストが完了したら、ファイル“地図.ai”を閉じる。
3. <図 16：地図の配置>を参考に、ペーストしたオブジェクトを配置する。地図の左上の角が、左上のコーナートンボの外トンボが交差する位置を基準に、右方向に 56mm、下方向に 116mm の位置になるように配置する。



4. <図 17：破線の描画>、<図 18：破線の拡大図>を参考に、赤い正円と文字列「DigitalGallery」を結ぶ破線を以下の設定で作成する。

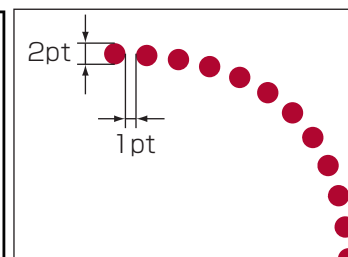
線：C:0% M:100% Y:70% K:30%

線幅：2pt

<図 17：破線の描画>



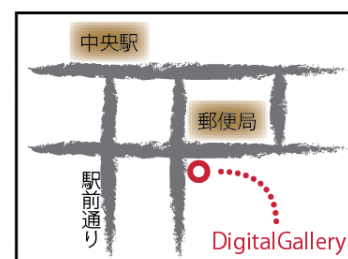
<図 18：破線の拡大図>



5. <図 19：ブラシとぼかしを適用>を参考に、道路を示す 5 本のグレーの線にブラシライブラリ「アート__木炭・鉛筆」の「木炭（先細）」を適用し、線幅を 1pt に設定する。
6. 地図中の中央駅と郵便局の背面にある長方形に以下の設定で効果「ぼかし」を適用する。

ぼかし（CS,CS2,CS3,CS4,CS5：ぼかしの半径）：2mm

<図 19：ブラシとぼかしを適用>



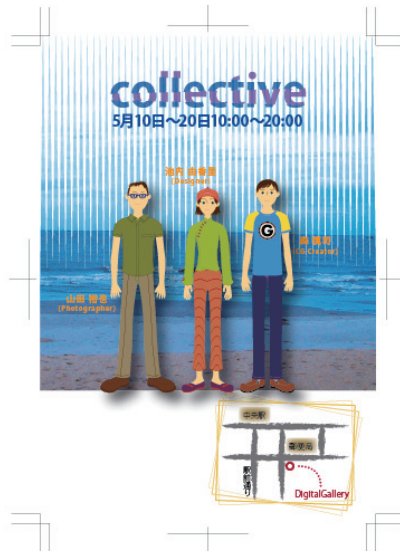
7. <図 20：「振れ（輪郭）」を適用>および参考画像“図 20.jpg”を参考に、地図を囲んでいる黒の長方形にグラフィックスタイルライブラリの「文字効果」の「振れ（輪郭）」を適用する。

<図 20：「振れ（輪郭）」を適用>



手順6 テキストの編集【レイヤー「ネーム」】

1. レイヤー「ネーム」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「ネーム」をレイヤー「地図」とレイヤー「イラスト」の間に移動する。
2. “ネーム.ai”を開く。“ネーム.ai”には、3つのテキストオブジェクトが作成されている。アートボード上のオブジェクトをすべて選んでコピーし、“エキスパート××××.ai”のレイヤー「ネーム」にペーストする。コピーとペーストが完了したら、ファイル“ネーム.ai”を閉じる。
3. <図 21：テキストオブジェクトの配置>を参考に、ペーストしたテキストオブジェクトを配置する。



4. ペーストしたテキストオブジェクトに、アピアランスパネルで新規塗りを追加し、以下の設定で効果の角丸長方形を適用する。<図 22：手順6完了時の状態>および参考画像“図 22.jpg”を参考に、アピアランスパネル上で文字と塗りの順序を変更する。

形状：角丸長方形

値を追加：ON

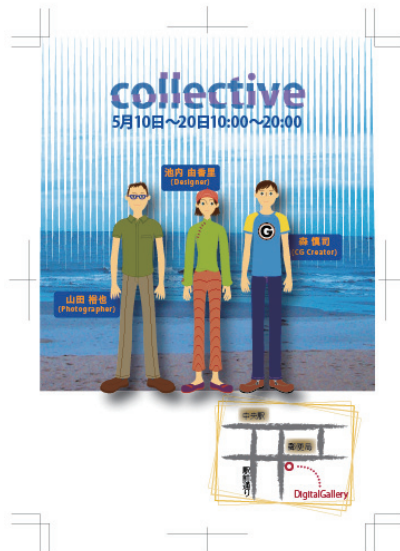
幅に追加：1mm

高さに追加：1mm

角丸の半径：1mm

塗り C:100% M:75% Y:0% K:0%

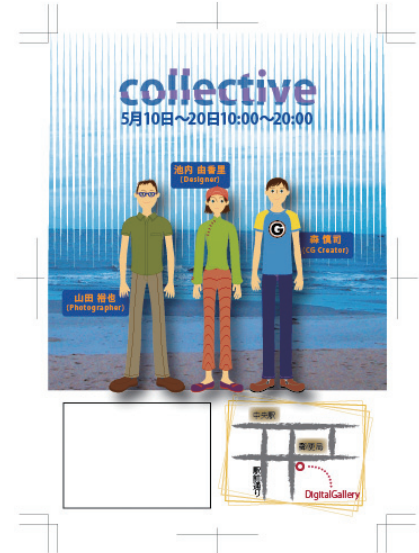
<図 22：手順6完了時の状態>



手順7 テキストの編集【レイヤー「テキスト」】

1. レイヤー「テキスト」を作成し、レイヤーパネルでレイヤー「テキスト」をレイヤー「地図」とレイヤー「ネーム」の間に移動する。
2. レイヤー「テキスト」上に、幅：46mm、高さ：33mm の長方形を作成し、＜図 23：長方形の作成＞を参考に、位置を調整する。
3. “テキスト .rtf” をリッチテキストエディタで開き、全文をコピーする。
4. エリア内文字ツールを使用して、2. で作成した長方形のエリア内に、コピーした文字列をペーストする。

＜図 23：長方形の作成＞



5. ＜図 24：テキストの設定＞を参考に、ペーストした文字列を、以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：L

サイズ：7pt 行送り：10pt

カーニング：オブティカル

トラッキング：0

段落後のアキ：5pt

禁則処理：強い禁則

文字組み：なし

塗り：C:0% M:0% Y:0% K:75%

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

＜図 24：テキストの設定＞

山田（フォトグラファー）、池内（グラフィックデザイナー）、森（CGアーティスト）という異色の3人が巧むメディアアートプロジェクト第2弾“collective”。見て、聞いて、触れて、新しい驚きと感動を感じてください。

5月10日18:00～オープニングパーティーを開催します。会費は1,000円です。是非、お越しください。

手順8 ファイルの保存

1. 制作したドキュメントを以下の設定で保存する。

ファイル名 (Mac: 名前): エキスパート××××.ai (××××は受験番号)

ファイル形式 (Mac: フォーマット): Adobe Illustrator (*.AI)

保存場所: “IL エキスパート×××× (バージョン名)” フォルダ内の “第2部実践問題” フォルダ内

手順9 修正指示に基づく PDF ファイルの作成

1. 作業指示書に基づいて制作した案内ハガキをクライアントに提案したところ、<図25: クライアントの修正指示>に示す修正指示があった。以下の通りに修正したバージョンのドキュメントを制作し、PDF形式で保存する。

■ 修正内容

- ①背景の海の画像を “夜景.psd” (夜景の画像) に置き換える。
- ②レイヤー「タイトル」上のタイトル、日時のオブジェクトにカラーの変更や効果、縁取りを適用して、目立つように編集する。

■ ファイルの保存形式

- ・PDF形式で保存
- ・フォントをPDFファイルに埋め込むこと。
- ・“エキスパート××××.pdf” (××××は受験番号) の名称で、“IL エキスパート×××× (バージョン名)” フォルダ内の “第2部実践問題” フォルダ内に保存すること。

<図25: クライアントの修正指示>



解答データの提出

手順9までの作業が完了したら、試験監督者の指示に従って “IL エキスパート×××× (バージョン名)” (××××は受験番号) フォルダを提出する。

〈Memo〉

試験問題内容に関して、他人にこれを伝え、漏洩することを禁じます。

© CERTIFY Inc.2010 禁無断転載複写